

# 不退転

第 198 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 2年生へ進路講話 ②

■新里 愛未(3年3組)



1年生の時は、小学校と違い部活はほとんど毎日、勉強と両立させる事が精一杯でした。2年生の時は、授業中の居眠りや私語が多くなりました。テスト前に勉強しても意味がわからなくて、良い点数を残すことができませんでした。3年生になってからは、みんなが受験生という自覚を持ち始めていく中、私は少し周りとの差を感じていました。そこから自分の夢が決まり、その夢に向かって日々の授業を受けていました。10月になると受験と卒業までのカウントダウンが始まり、1日1日がとても速く感じられました。

私は、3年生から成績は上がり、部活での実績もあったので、名護高校の推薦入試を申し出ました。校内推薦が決まってからは、休み時間や空いている時間を見つけて、何度も面接の練習をし、友達からアドバイスを受けました。推薦入試の結果が出た時は、とても悔しかったけど、友達や先生、親の言葉を聴いて、私はこんなにも応援してくれている人がいるから、絶対に合格する!!そして、

自分に負けたくないという気持ちを持って一般入試に向けて頑張る事を決めました。

今の勉強法は、塾では3年生の勉強や過去問を解いて、家では1・2年生の勉強と、とても苦しい日々を過ごしています。一般入試が後1週間に迫っている今、私が思う事は最後まで気を抜かず、自分を信じてやる!!という事です。

2年生の皆さんへ伝えたい事は、今からでも歴史の本を読んで興味を持ちたり、友達やクラスの皆で遊びながらでも1問1答をしたりして、自分の分からない所を少しずつでも埋めていけたらいいと思います。そして、『行ける高校ではなく、行きたい高校』にみんなが行けるよう頑張ってください。

■我部 亮(3年2組)



僕は、テニスコートで名護高校の男女が練習を一生懸命頑張っている姿を見て、名護高校に行きたいと思いました。最初のテストでは、評定と点数共に名護高校に全然届きませんでした。でも最後には、いい位までできました。僕はみんなに「行けるば〜」とか、「なんで名護高校なわけ?」などと心配されました。そんな事を言われるのは、1・2年で成績が悪かったせいだと思えます。3年生になって、授業で分からない事があれば必ず、隣に訊いたり姉にも訊いたりしていました。みんな行ける高校あるはず。でもその行ける高校に行くんじゃないかと、自分が行きたい高校

に行けるよう勉強を頑張ってください。今からでも全然間に合うと思います。頑張ってください。

## 3年生の話聴いて

■仲原 蓮(2年2組)



高校に行くには、1・2年生から受験は始まっていると思います。特に、同じバスケット部の先輩も厳しい練習をしていたのに、家に帰っても勉強をしていたと聞きビックリしました。高校に行きたいと改めて感じました。しかし、今の自分には100%無理と思うので、今日・明日から頑張っていきたいと思います。

■金城 真夏(2年2組)

印象に残った言葉は、「行ける高校じゃなくて、自分が行きたい高校」という言葉です。自分はこの高校しか行けないから、この高校に行くとかだったら、大事な3年間楽しくないと思うし、「あの時、勉強しとけば良かったな」ってずっと後悔すると思うからです。なので私は、M高校に合格したいです。そのためには、3年生になって急いでやるより、今、コツコツ勉強する事だと思っています。そして、自分を変えるのも今しかないと思うので頑張りたいです。私は、M高校を受験して、保育士の職業に就きたいです。

■宮城 望(2年1組)

漢検や英検に合格すると受験の時に役立つので、自分のためにもなると思いました。なので、検定試験に積極的に挑戦したいと思います。また、今やらないといけない事を後回しにすると、後々後悔すると思うので、今からやろうと思いました。